

議 事 録

会議名	町史編集委員会		
日 時	平成25年 8 月 20日 (火) 15:00～17:00	開催形態	公開
場 所	寒川総合図書館会議室		
出席者	委員：圭室委員長、木村委員、鳥養委員、大口委員、内海委員 事務局：小島館長、高木主幹 傍聴者：なし		
議 題	(1) 平成24年度事業報告について (2) 平成25年度の事業計画について (3) 平成25年度の刊行物について (4) 平成25年度の普及事業について		
決定事項	(1) 平成24年の事業結果について報告した。 (2) 平成25年度の事業計画について運営審議会の了承事項を報告した。 (3) 平成25年度の町史刊行物の内容について審議のうえ決定した。 (4) 平成25年度の普及事業の内容について検討のうえ了承された。		
議 事	<p>(1)平成24年度事業中間報告について</p> <p>○資料1にもとづき、平成24年度の事業結果報告について事務局より説明した。これが『寒川文書館年報』第6号の原稿となる。特に質疑は出なかった。</p> <p>(2)平成25年度事業計画について</p> <p>○7月3日に開催の文書館運営審議会で了承された、平成25年度事業計画の内容を事務局より説明した。</p> <p>○学習院大学大学院アーカイブズ学専攻の学生を受け入れる「アーカイブズ実習」について、その内容を確認する質問があった。</p> <p>(3)平成25年度の刊行物について</p> <p>○今年度刊行予定の町史研究第26号、調査報告書19集、絵はがき集4、文書館年報第6号、文書館だより第14号、文書館だより第15号の6点について、それぞれ内容を検討した。</p> <p>○町史研究は、特集を「関東大震災と寒川」とし、11月24日に開催される防災講演会の講演録をメイン記事にするなど、事務局案が了承された。</p> <p>○調査報告書は「浜降祭日記(4)」とし、昭和15年から20年までの浜降祭の記録を翻刻する。解説は圭室委員長に執筆していただくことになった。</p>		

	<p>○絵はがき集は、関東大震災の展示や刊行物と関連づけ、震災復興のうちに寒川神社が発行した絵はがきを復刻することとなった。</p> <p>○年報は平成 24 年度事業の結果報告をメインの記事とし、9 月末日に発行する。</p> <p>○文書館だよりのうち第 14 号は、企画展「さむかわの道」や資料保存ワークショップの結果報告などを載せることと決まり、9 月末日に発行する。第 15 号は、企画展「関東大震災と寒川」や防災講演会などの報告を中心にまとめ、3 月末に発行する。</p> <p>(4)平成 25 年度の普及事業について</p> <p>○町史講座はこれまで、原則として編集委員を中心に町史の執筆者が担当してきたが、講師謝礼の予算がつかなくなり、さまざまな工夫を余儀なくされている。今年度は危機管理課の防災講演会との共催事業と位置づけ、11 月 24 日に名古屋大学の武村雅之氏を招き、関東大震災の話をしていただくことになった。</p> <p>○資料保存活用講演会も同様の理由で昨年度は開催できなかったが、今年度は神奈川歴史資料保全ネットワークとの共催で、9 月 8 日、「水損資料等の応急措置を学ぶ」というワークショップを開催することになった。水損資料の応急手当や襖の下貼りはがしの技術を、神奈川大学の田上繁氏、東京大学史料編纂所の山口悟史氏に教えていただくという企画である。</p> <p>○古文書講座（全 6 回）と中世史講座（全 4 回）は例年どおりに実施する。</p> <p>○企画展示は 9 月 1 日から「関東大震災と寒川」を開催する。この内容について説明したところ、多くの住民が心配しているであろう津波について、過去の被害や今後の想定を説明した方が良いのではないかという指摘があった。</p> <p>○ミニ展示のうち一つは、企画展の関連企画「災害から地域資料を守る」、もう一つは「午年のできごと」を開催することを確認した。</p> <p>○今年度からの新企画として、図書館の雑誌コーナーを文書館が借りて書籍の展示を行う「図書館ミニ展示」を実施することになった。6 月には国際アーカイブズの日に関連企画として「記録資料を伝える・残す」実施した。また 9 月には企画展と関連づける「関東大震災 90 年」を開催する予定である。</p> <p>(5)その他</p> <p>○次回会議は 12 月中旬とし、日程は後日調整することになった。</p> <p>○会議録の署名は鳥養委員が指名された。</p>
資 料	
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	<p>鳥 養 直 樹</p> <p>(平成 25 年 9 月 13 日確定)</p>

